

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

1. 地域移行を保健所圏域ごとに進めるに当たり、退院促進事業の取組の中で培ってきたネットワーク、社会資源を活用できる。
2. 所管部局においても、福祉、保健部局協働で地域移行に取り組み、居住支援等の課題については、他部局(住宅)と連携した横断的な取り組みを進めている。

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行事業の充実 ・精神病床における長期入院患者の地域生活移行がすすまない 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所圏域ごとに協議の場を設置し、圏域内の現状についての情報共有、課題の共有等を推進。 ・全県的な課題共有や検討を行うため、職域代表や圏域代表による協議の場を設置し、県全体での取り組みを進めている。 ・措置入院者等への退院後支援の運用を開始。 ・人材育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議の場による継続した協議等により、顔の見える関係が構築され、地域移行に関する保健・医療・福祉の相互理解が促進。

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①入院後3か月時点、6か月時点、1年時点の退院率	3か月 48.6% 6か月 69.6% 1年 78.7%	56% 74% 85%	・前年度と比較し退院率は伸びている。
②1年以上の長期在院者数	3581人	3239人	

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。